ケアガイド

カピバラ(*Hydrochoerus hydrochaeris*)

Translated by Sayaka Mochizuki

アニマルウェルフェア

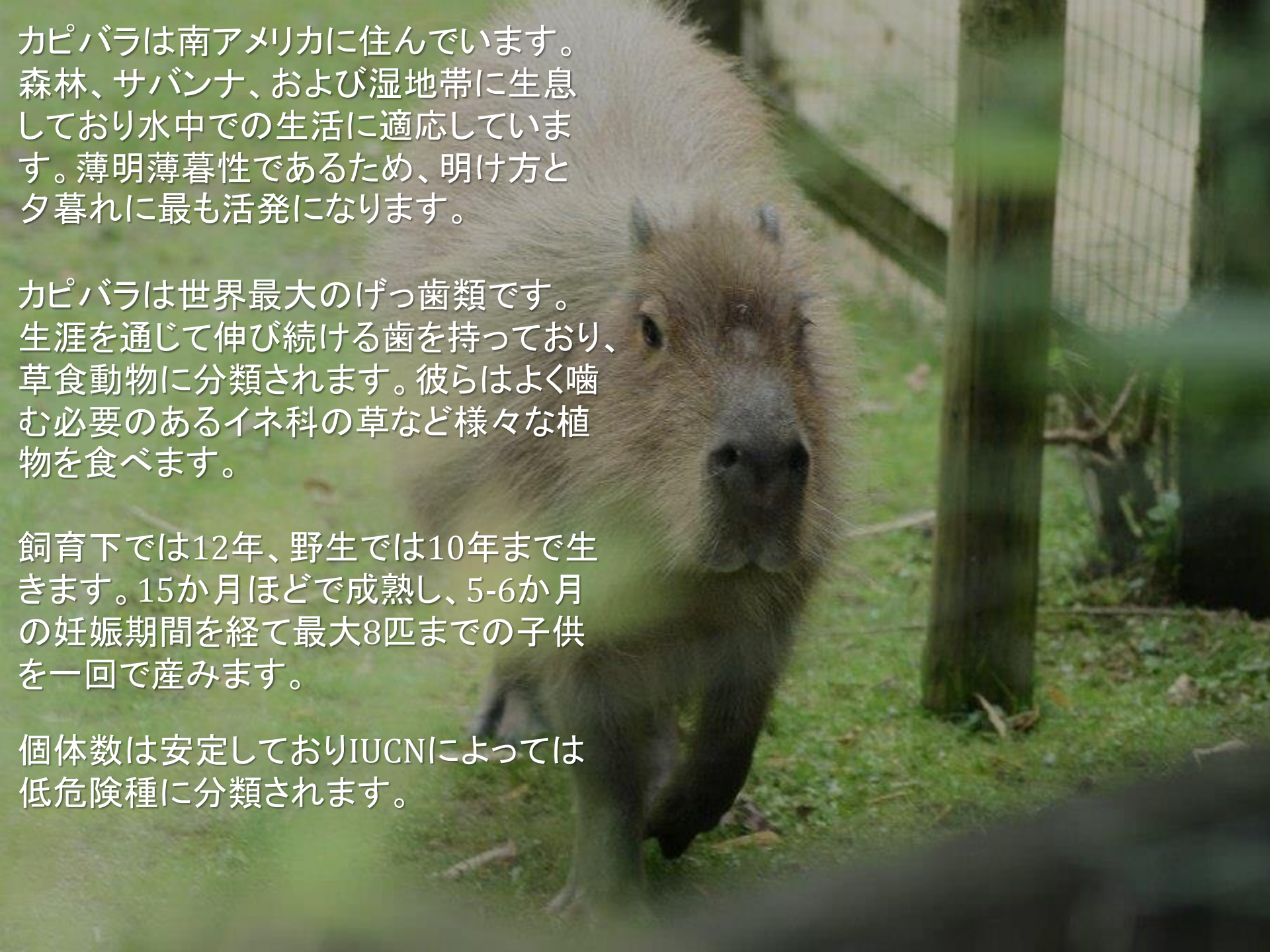
アニマルウェルフェアは動物の状態もしくは感情について使われます。ウェルフェアは良い、悪い、もしくは中立になりえます。

動物のウェルフェアは日によっても違うことがあり、その動物のニーズ —栄養、行動、健康、環境ーが充足しているときに良いウェルフェアが実現します。

飼育下でのいい一生とは、その動物の生涯を通じて良いウェルフェアが実現することであるともいえます。

動物にも感覚、認知能力、並びに痛覚があることを理解してふさわしい畜産実践を促進することは、すべての飼育下にある動物に対し良いウェルフェアを確保することにつながります。

飼育下においては動物のウェルフェアは彼らに提供される環境および彼らが受ける日々のケアと獣医治療にかかっています。



カピバラは南アメリカに住んでいます。森林、サバンナ、および湿地帯に生息しており水中での生活に適応しています。薄明薄暮性であるため、明け方と夕暮れに最も活発になります。

カピバラは世界最大のげっ歯類です。生涯を通じて伸び続ける歯を持っており、草食動物に分類されます。彼らはよく噛む必要のあるイネ科の草など様々な植物を食べます。

飼育下では12年、野生では10年まで生きます。15か月ほどで成熟し、5-6か月の妊娠期間を経て最大8匹までの子供を一回で産みます。

個体数は安定しておりIUCNによっては低危険種に分類されます。

カピバラのはっきりした環境の好き嫌い

カピバラたちは自然の生息地に近い環境を必要とします。のんびり草を食むことのできる高低差に富んだ広い草に覆われたエリア、プライバシーと休憩のため複数のシェルター、および大量の溜まり水がなければなりません。15℃から30℃の温暖な気候を好み、触覚が発達しているため体をこすりつけることのできる木や枝などがあると喜びます。

推奨すべきポジティブな行動

どこに行って何をするかを選択でき、探索行動を推奨するような住環境を提供しましょう。地面素材やシェルターの選択肢があることは彼らのためになります。

カピバラは食いしん坊

カピバラの食事は様々な草および新鮮な果物と野菜から成り立っています。体内で生成できないためビタミンCは食事から摂取する必要があります。また栄養素を無駄にしないように自分の排泄物を食べる食糞行動を示します。

推奨すべきポジティブな行動

常に草、干し草、新鮮な果物野菜が食べられるようにすることで健康を保つことができます。草を食む行動は推奨しましょう。食事をパズルフィーダーで与えたり、展示内に撒いたり、水面に浮かべたりするなどの刺激となる給餌方法を取り入れることで、採餌行動を促すことができます。噛み応えのある素材を提供することで伸び続ける歯の健康を保つことができます。

カピバラは水辺が好き

カピバラのウェルフェアにとって水は欠かせません。カピバラは水中で5分も息を止めることができ、泳ぐのに便利なように足にも部分的に水かきがあります。よく水中もしくは水辺で排泄をし、危険を感じたときは水に潜ります。出入りをしやすくするために湖や池は傾斜をつけましょう。溜まり水がないことは彼らにとって非常なストレスになります。野生では水中もしくは水辺の植生も食します。

推奨すべきポジティブな行動

出入りしやすい大量のキレイな水は遊泳、排せつ、摂餌を促進するだけでなく彼らの安心の確保にもつながります。

カピバラは泥浴びが好き

泥浴びをすることはカピバラにとって色々ないいことがあります。暑すぎるとき泥浴びはカピバラの体温を低く保ち、また泥のコートは肌を虫や日焼けから守ります。泥は環境的にも行動的にもよいエンリッチメントです。

推奨すべきポジティブな行動

泥浴びができることはカピバラの身体的ならびに精神的な健康にとって大切です。出入りが妨げられることのないよう浴場の傾斜がきつすぎないか注意が必要です。

カピバラは特別な健康管理が必要

カピバラの歯はつねに伸び続けているため歯の問題を抱えることがあります。肌も荒れやすく特に過酷な環境下では肌割れしたり痛みの原因となるうえ、指の間の水かきの肌は特に繊細です。毎日肌と食物摂取量の観察を行う必要があります。

推奨すべきポジティブな行動

噛むための枝と干し草を提供することで歯が削られその健康を保つことができます。泥、水、温かい場所へのアクセスは健康な肌の確保につながります。毎日の健康チェックを行うことで健康問題への早急な対処ができるようにしましょう。

カピバラはプライバシー重視

多くの野生動物同様、カピバラはプライバシーを好みます。大きな音、来園者からの妨害、察知した危険から逃げるすべがないことはストレスの原因となります。特に安全のための逃げ場となる溜まり水がない場合ストレスは大きくなります。

推奨すべきポジティブな行動

来園者が接近できないようなねぐらや屋内スペースなどいくつかの隠れられる場所および遮蔽物を提供してください。このようにカピバラ自身が見られたいか見られたくないかを選択することができることは彼らのウェルフェアにとって非常に重要です。屋内スペースにおいても安心のため近くに溜まり水があるべきです。

カピバラは社交的

カピバラは社会的生活を営む動物で優位オスをリーダーとする多くて10頭までの群れを形成して生活します。群れ内の順位は交替することもあります。コミュニケーションはキュルキュルやゴッゴッといったような音声を通じて行われます。またテリトリーを匂いづけで主張します。資源が不足したときは群れ内での攻撃行動につながりうるため、食事は広範囲において給餌し個体数に応じて十分なシェルターを準備してください。

推奨すべきポジティブな行動

社会的動物は相性のいいグループ内で生活すべきです。社会性を持つ種を隔離することはその個体の健康及びウェルフェアにとって非常に悪影響を及ぼします。

カピバラの楽しみ

自然な行動につながる大量の溜まり水がある彼らにふさわしい環境、ビタミンCを足した多彩な食事、人間に邪魔されないプライバシーの確保、ならびにほかのカピバラと社交ができる機会があるとカピバラは喜びます。

飼育下にある動物たちの生涯が幸福で健康であるように、私たちは常に彼らの自然で普通の行動を再現するようにしなければなりません。

WILD WELFARE